

第4回認知症の人にもやさしいデザインガイドライン化検討委員会 議事録

日時： 2025年12月19日(金) 15:00~17:00

場所： 福岡市市役所9階顧問室

委員会：佐藤委員長、定村委員、小原委員、志賀委員、中牟田委員、後藤委員、柳委員
(柴田委員、宮内委員欠席)

1.次第

- (1) 開会
- (2) 議事
 - I) 第2回技術部会報告について
 - II) 橋本地区試行導入 歩行者系都市サイン 行動・理解度調査実施報告について
 - III) 認知症の人にもやさしいトイレサイン理解度調査実施状況について
- (3) その他
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) 閉会

2.会議の決定事項

本会議では、橋本地区に試行導入する歩行者系都市サインの最終デザイン案と、介護施設におけるトイレサインの実証実験計画について審議した。橋本地区のサインについては、事前の実証調査に基づき、「地図情報」を極力省き「文字と矢印」を主体とするデザイン（B案ベース）を採用することが決定した。また、トイレサインについては、既存デザイン・認知症配慮デザインに加え、JIS規格ピクトグラムも含めた3パターンでの比較調査を行う方針が固まった。

3.議事詳細

議題1: 第2回技術部会報告について

事務局より報告

委員：調査対象にMCI（軽度認知障害）の方を含めるべきとの意見が技術部会で挙げたが、本調査では「認知症の方が理解できるものは、MCIの方も理解できる」との前提に立ち、介護施設に入所中の認知症の診断を受けている方を対象とした。

議題2: 橋本地区 試行導入 歩行者系都市サイン 行動・理解度調査実施報告について

事務局より調査報告

委員：地図を読み切れない層は認知症の有無に関わらず一定数存在し、ナビゲーションに慣れた現代では方向指示の方が有効であると思う。サインが風景に溶け込む問題に対しては、盤面の枠や上下にオレンジ色などの目立つ色（アクセントカラー）を入れることで視認性を高めてはどうか。

委員長：地図には「周辺施設を含めた全体関係が分かる」という利点があり、文字指示には「簡潔で分かりやすい」という利点がある。今回は試行導入としてB案（文字・矢印）を採用するが、全市展開にあたっては設置場所の特性（駅前か、旧市街か等）に応じて両案を選択できる「ハイブリッドな基準」を提言しておくことが望ましい。

委員：都市サインは連続して誘導していく前提である。全てを矢印表示にすると交差点ごとに多数のサインを設置する必要が生じ、景観上の制約やコスト増に繋がるため、全市展開時は慎重な検討が必要。盤面へのアクセントカラー追加については、既存サイン下部の緑色と視覚的に干渉しないよう、青緑色等の色調調整が必要である。

委員：別の調査において、上向き矢印を「上に登る」と誤認したり、Uターン矢印の意味が全く伝わらなかったりする危険リスクが確認されている。そのため、矢印だけでなく「まっすぐ進む」「引き返す」といった文字情報の補足は必須である。また、地下鉄のマークは路線記号（Fマーク）よりも車両のピクトグラムの方が理解度が高い。

委員：空間把握能力が低下するのは主にアルツハイマー型認知症である。男女差（男性の方が地図を読む傾向）もあるが、割合として最も多いアルツハイマー型を基準に据えるのであれば、地図の提示は難度が高く、右・左といった単純な指示が適している。

委員・委員長

：（サインの構造について）サイン本体を単なる箱型で製作すると、将来の施設変更時に多大なコストがかかる。表面のシートのみを容易に張り替えられるよう、目地を入れたプレート構造とするなど、メンテナンス性を考慮した仕様で発注するよう事務局へ要請。

議題3: 認知症の人にもやさしいトイレサイン 理解度調査 実施状況

事務局より計画概要説明

委員：近年の介護施設は小便器が撤去され、男女共用の洋便器のみとなっているケースが主流であるため、男性・女性を区切る仕切り線のあるピクトグラムは実態にそぐわない。また、現状のトイレは扉が壁と同色で認識されづらく、素通りされる要因となっている。

委員：調査の目的が「ピクトグラムの純粋な比較」なのか「文字を含めた総合的な案内性能の比較」なのかを明確にする必要がある。現状が「お手洗い」という小さな表記であるのに対し、実験用シートに大きく「トイレ」と記載すると、文字の大きさによる効果が強く出てしまう懸念がある。

委員：検証用シートの地色を有彩色にすると、ピクトグラムではなく「色」そのものに目が行ってしまい正確な比較ができないため、背景の壁に合わせた「白地」で行うべきである。また、引き戸の開け方（左右どちらに引くか）を示すピクトグラムの現場ニーズは非常に高い。

委員長：本実証の目的は「ピクトグラムと文字の組み合わせによって、当事者の自立行動が促され、スタッフの介護負担が減るか」を検証することである。したがって、文字サイズは視認しやすい大きさに統一し、地色は白地とすることで比較条件を揃える。レイアウト等の作成は委員へ依頼する。

3.今後の予定 事務局より説明